

# 全市的なまちづくりの更なる推進

本市のこれまでの歩みを踏まえ、平成13年の3市合併以降、本市がはぐくんできた魅力や地域資源を更に生かし、未来に引き継ぐための持続可能な都市づくりを進めるため、本市の2つの将来都市像である「上質な生活都市」「東日本の中核都市」の実現に向け、着実にまちづくりを進めていく。

都心は本市の顔として、良好な住環境に配慮しつつ、幹線道路網や公共交通機関の利便性を生かしながら、商業・業務機能等の高次な都市機能を集積し、広域的な都市活動や市民生活の拠点となる。

**▶都心の機能強化に貢献する主な事業**

- ・大宮駅周辺地域戦略ビジョン、GCS化構想の推進【大宮】
- ・まるまるひがしにほん【大宮】
- ・さいたま新都心将来ビジョンの改定・推進【大宮・中央】
- ・(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョンの策定、推進【浦和】
- ・市街地再開発事業や土地区画整理事業

副都心は地域の特性を生かした都市機能を有し、都心や副都心間で連携しつつ、一定規模の都市的サービスを楽しむことができる、都心に次ぐ都市活動や市民生活の拠点として、都心を補完する役割を担う。

**▶副都心の機能強化に貢献する主な事業**

- ・浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン【岩槻、美園】
- ・市街地再開発事業、土地区画整理事業

**スマートシティの推進**

- ・美園地区
- ・大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区

**スポーツシュールの活用推進**

- ・さいたまスポーツシュール
- ・次世代型スポーツ施設の誘致・整備

**水とみどりを生かしたまちづくり**

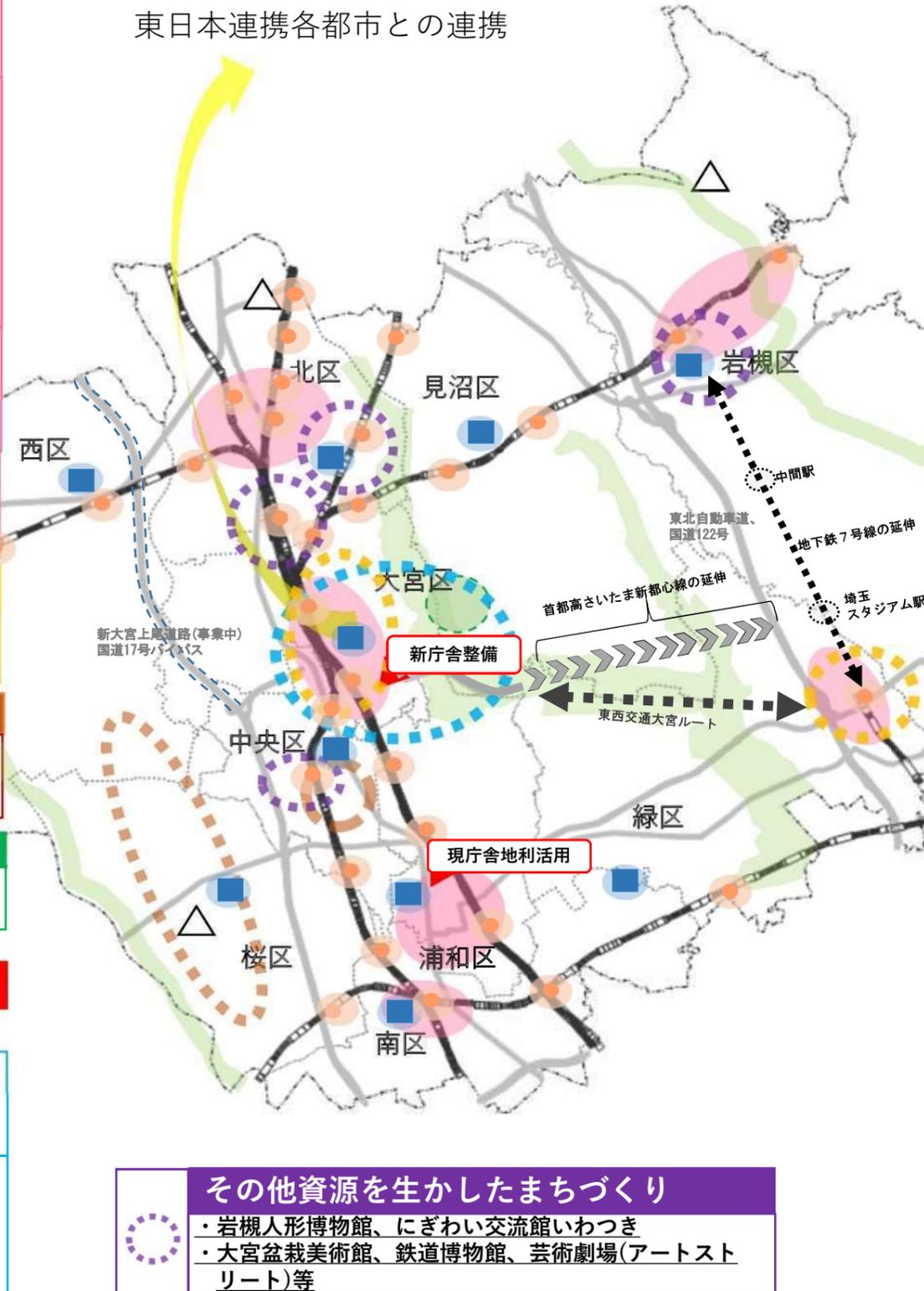
- ・見沼田圃、桜回廊等を生かしたまちづくり
- ・河川調整池の有効活用

**庁舎整備及び現庁舎地の利活用**

産業集積拠点は、業務機能の主な集積拠点にもなる都心や副都心以外の企業活動の拠点としての役割を担う。

**▶産業集積拠点**

- ・吉野原工業団地【北】
- ・浦和工業団地【桜】
- ・岩槻工業団地【岩槻】
- ・新たな産業集積地区創出候補地区【6地区】



地域生活拠点は、商業・サービス機能を主とする日常生活を支える機能を有し、地域における市民生活の拠点としての役割を担う。

**▶地域生活拠点形成に貢献する主な事業**

- ・西大宮駅開設、大宮西部特定土地区画整理事業【西大宮駅周辺】
- ・大和田特定、七里駅北側特定土地区画整理事業【大和田駅、七里駅周辺】
- ・指扇駅橋上化・北口駅前広場【指扇駅周辺】
- ・大宮公園駅舎【大宮公園駅周辺】
- ・西浦和駅周辺まちづくり方針【西浦和駅周辺】
- ・中央区役所公共施設再編【与野本町駅周辺】

地域活動拠点は、区役所との併設等により文化・交流を主とする地域コミュニティをはぐくむための機能を有し、地域における市民活動の拠点としての役割を担う。

**▶地域活動拠点形成に貢献する主な事業**

- ・複合公益施設サウスピア【南】
- ・地域中核施設プラザノース【北】
- ・中央区役所公共施設再編【中央・再掲】

**広域防災拠点都市づくり**

- ・TEC-FORCEの進出拠点(首都圏広域地方計画)
- ・交通網の充実(新大宮上尾道路の延伸、首都高速さいたま新都心の延伸)により高速道路ネットワークが強化され、新都心周辺の防災機能が向上
- ・さいたまセントラルパークの整備により、大規模災害時の避難・活動拠点となるオープンスペースが生まれる。
- ・緊急輸送道路が近接し、かつ防災関係機関が多い新都心に新庁舎を整備することにより、更なる防災力の向上

**交通網の充実**

①南北都市軸  
都心・副都心と東京都心部、北関東地方、東北地方、上信越・北陸地方及び北海道との連携、市内の拠点間の連携を強化

②東西連携軸  
市内の拠点間の連携を図りつつ、広域的には東京都心部から環状方向に位置する拠点的な都市との連携を促進

③拠点へのアクセス向上  
市内における拠点へのアクセスの向上を強化

**▶上記に貢献する主な事業**

- ・地下鉄7号線延伸
- ・首都高埼玉新都心線延伸
- ・新大宮上尾道路(事業中)
- ・東西交通大宮ルート
- ・道路拡幅(事業中)
- ・都市計画道路(事業中)

本市全体が将来的に発展していくためには、将来都市構造を踏まえて都市機能の拡充や交通網を充実していくことと合わせ、市内全域で日常生活や地域活動を支える拠点づくりを進めるとともに、各地域の特色やさいたま市らしさを生かしたまちづくりを進めていくことで、全市的な発展を目指す。